

第11特科隊新年安全祈願行事

やまぶき

(発行所)
11特OB会
(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL (011) -581-3191
内線2645
(印刷)
札幌造型合同会社



隊は、令和五年一月十一日(水)新年安全祈願行事を執り行った。本祈願行事は、災害事故防止と安全の祈願徹底、部隊の団結強化及び士気の高揚を図る目的で行われた。当初、隊長及び各中隊長による奉酒を行い、副隊長による一丁締め、隊長から各中隊長へ御神酒の贈呈、隊長による年頭の辞等により一年の安全を祈願した。安全祈願後には、年男女が音頭をとり全隊員で関の声を上げるとともに、全隊員での記念撮影を行い、新年として気持ちを新たに土特科隊の団結を強化した。



▲土特科隊全員での記念撮影



▲副隊長による一丁締め



▲隊長年頭の辞



▲安全祈願ご祈祷 (札幌護国神社)



▲年男女が音頭をとった関の声



▲奉酒 (第1中隊長)

主な記事

二面 令和四年度山地機動訓練(冬季)等
三面 令和四年度自衛官幹部任官者の紹介等
四面 昇任者・転出者・転入者・退官者の紹介

三月定期異動に伴う
新着任副隊長・中隊長紹介



第3中隊長

3等陸佐 尾崎 安奈
前勤務地 陸上自衛隊教育訓練
研究本部 (目黒)



本部管理中隊長

1等陸尉 石黒 政紀
前勤務地 富士教導団
特科教導隊 (富士)



副隊長

2等陸佐 吉田 裕樹
前勤務地 第6師団司令部
(神町)



令和四年度 山地機動訓練 (冬季)



▲第11飛行隊との共同訓練



▲山地機動訓練

事前訓練では、座学と段階的な訓練を実施し、冬季における山地機動及び遭難者救助に必要な識能付与するとともに、キロロスキー場周辺を使用した訓練では、冬季における各種行動について演練した。
訓練参加者は、本訓練を通して、山地機動に必要な技術・知識等を向上させたほか、冬季における山地機動の厳しさを再認識した訓練となった。



▲要救助者の搬送訓練

隊は、令和五年一月六日(金)から一月二十日(金)までの間、真駒内駐屯地、丘珠駐屯地及びキロロスキー場(赤井川村)周辺の山岳地域において、令和四年度山地機動訓練(冬季)を実施した。
本訓練は、観測要員、レンジャー要員及び山地遭難者救助活動要員に、山地機動訓練を実施して、戦闘又は災害派遣時における山地機動に必要な応用技術を修得させるとともに、第十一飛行隊との協同訓練により、各種事態に応ずる連携強化を図る目的で行われた。

令和四年度 火砲整備競技会



▲砲塔の点検



▲最優秀砲班第1中隊第3砲班



▲優勝を果たした第1中隊

隊は、令和五年一月二十七日(金)、真駒内駐屯地において、令和四年度火砲整備競技会を実施した。本競技会は、射撃中隊の火砲整備能力を向上させ火砲の可動率を維持するとともに、部隊団結の強化を図る目的で行われた。
結果は、昨年の雪辱を果たし、第一中隊が優勝を果たすとともに、第一中隊第三砲班が最優秀砲班を勝ち取った。

令和四年度 北後志地区自衛隊入隊予定者激励会

隊は、令和五年二月十九日(日)小樽市において、自衛隊家族会北後志地区協議会が主催した北後志地区自衛隊入隊予定者激励会に参加協力した。
本激励会は、北後志地区の令和五年度自衛隊入隊予定者四名の自衛隊に対する理解の深化に寄与するとともに、入隊予定者と家族の不安の払拭及び自衛隊家族会との連携の強化を図る目的で実施された。



▲隊長による祝辞



▲らっば吹奏



▲小樽自衛隊協力会会長大川様による記念品の贈呈

～令和4年度自衛官幹部任官者の紹介～

第二中隊藤原三尉です。出身は岩手県！趣味はレザークラフト！改めましてよろしくお願ひします！

この度、三等陸尉に任官し、射撃中隊に配置されました。初級幹部として気持ち新たに、失敗を恐れず挑戦していく所存であります。皆様のご期待に応えられるよう、日々努力を惜しまず、任務に邁進していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



第2中隊 藤原3尉
(3月11日幹部任官)

出身 岩手県
趣味 レザークラフト
座右の銘 欲張らない！
その他 地道に頑張ります！

この度、幹部に任官いたしました。私は、幹部候補生学校入校まで航空自衛隊で勤務しておりました。第十一特科隊に配置されてから、毎日が新しい発見の連続で非常に楽しく勤務することができております。皆様方のご期待に応えられるよう、職務に邁進していく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



第3中隊 中矢3尉
(3月11日幹部任官)

出身 愛媛県
趣味 スキー
座右の銘 向き不向きよりも前向きに
その他 明るい性格です

～令和4年度認定指導官・初級らっぱ取得者紹介～

栄誉を
称えて



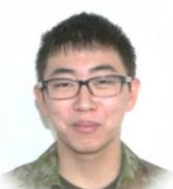
第二中隊 石田士長

教育を通して、多くの事を学ぶことができました。今後は、後輩の育成に貢献していきたいです。



第一中隊 福間一士

多くの事を学ぶことができました。この経験を活かして、中隊に貢献していきたいと思ひます。



本部管理中隊 明上一士

教官・助教の方々のご指導のおかげで、初級らっぱを修得する事が出来ました。引き続き練習します。



本部管理中隊 山下士長

引き続きラッパ練習を維持し部隊に貢献したいと思ひます。



第二中隊 梶原三曹

念願の部隊スキー指導官認定を頂きました。冬季戦闘について、少しでも隊に貢献できるように努力します。



第一中隊 柏野三曹

部隊スキー指導官としてのスタートラインに立つ事が出来ました。まだまだ未熟ですが引き続き練習します。



本部管理中隊 角田三曹

三年間、多くの方に助けられ、ようやく部隊スキー指導官としての形にすることが出来ました。引き続き頑張ります。



本部管理中隊 赤坂二曹

部隊スキー指導官として、部隊に貢献出来る様に、精進します。今後もし宜しくお願ひします。



第二中隊 本宮三曹士級

上級スキー指導官として、冬季戦術について部隊に貢献出来る様に、引き続き頑張ります。

初級らっぱ

上級・部隊スキー指導官

一月昇任者

三等陸佐 隊本部	柴田 創史
一等陸曹 本部管理中隊	矢口 稚也
同	宮永 慎一
第一中隊	山本 裕介
二等陸曹 本部管理中隊	濱谷 保奉男
三等陸曹	
第二中隊	松原 拓海
同	藤澤 由衣
第三中隊	工藤 剛
陸士長 本部管理中隊	市川 拓実
同	山下 颯太
同	藤原 大樹
第一中隊	松原 大輝
第二中隊	岩間 良芽
同	杉谷 元詩
第三中隊	本多 龍弥
一等陸士 本部管理中隊	明上 海斗
第一中隊	山田 政宙
同	関 雄太
同	飯干 颯
第二中隊	西門 樹
第三中隊	松澤 千力
同	川浪 琴乃

三月転出者

隊本部	高知駐屯地業務隊(高知) 正仁
一等陸尉	高澤 成功
国際活動教育隊(駒門)	
第一師団司令部(練馬)	石原 優斗
本部管理中隊	
一等陸尉	福田 智之
徳島地方協力本部(徳島)	
准陸尉	天満 和弘
第一特科隊(北富士)	
陸曹長	飯沼 祐二
上富良野駐屯地業務隊(上富良野)	
二等陸曹	富永 大介
武器学校(土浦)	
三等陸曹	牛木 一成
東北方面特科連隊(郡山)	
三等陸曹	高橋 彩織
第二百二十教育大隊(真駒内)	
三等陸曹	三浦 悠希
第六普通科連隊(美幌)	
第一中隊	
一等陸曹	山本 裕介
幹部候補生学校(前川原)	
三等陸曹	今村 聖吾
第五特科隊(帯広)	

三月転入者

第二中隊	山下 真司
第二特科連隊(旭川)	
第三中隊	
三等陸佐	江嶋 宏次
陸上幕僚監部訓練部(市ヶ谷)	
二等陸曹	今泉 宏
郡山駐屯地業務隊(郡山)	
隊本部	
二等陸佐	吉田 裕樹
第六師団司令部(神町)	
一等陸尉	松島 良
第三特科隊(姫路)	
本部管理中隊	
一等陸尉	岡元 秀敏
第一特科群(北千歳)	
特科教導隊(富士)	石黒 政紀
准陸尉	加賀谷 誠
真駒内駐屯地業務隊(真駒内)	
陸曹長	白土 晶一
自衛隊体育学校(真駒内)	
三等陸曹	井上 知希
第三十四普通科連隊(板妻)	
第一中隊	
一等陸曹	桶谷 昭純
滝川駐屯地業務隊(滝川)	
二等陸曹	藤野 裕輔
第五特科隊(帯広)	
第三中隊	
三等陸佐	尾崎 安奈
教育訓練研究本部(目黒)	
二等陸曹	岩谷 大輔
特科教導隊(富士)	

三月転入者

昇任おめでとう
ごぞひます。

益々の活躍を
期待しています。

十一特科隊での勤務
お疲れ様でした。

定年退官者



佐々木 2 佐
5. 1. 24付



本田 曹長
5. 2. 1付



島瀬 曹長
5. 2. 5付



潮 准尉
5. 3. 23付

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について
現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。手続きに関しては、「特科隊広報援護室」にて行います。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 藪本

二 叙位及び死亡叙勲に
関する手続きについて
自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人が逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関等へ連絡下さいますことをご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他
第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四五) 担当 米田